

## The 6th Teaching Games for Understanding Conference の参加報告

生命環境科学系 博士課程 2 年 山本浩之(工藤研究室)

渡航費援助を受け、7 月 25～27 日にドイツのケルン体育大学で行われた The 6th Teaching Games for Understanding Conference(理解のためのゲーム指導学会)に参加および学会発表させて頂きました。

この学会は、ゲームを用いたスポーツ指導法の国際学会です。従来、球技スポーツの指導現場では、単純な反復練習により基礎技術を習得してから、ゲームに移行するという流れが主体的でした。しかし、この学会は、初心者頃から、修正したゲームにより学習をより促進させようとする” Teaching Games for Understanding” という手法をテーマとしております。私は、学会 2 日目に、The effect of rule modification on strokes in tennis matches -Induction of offensive play by using one-trap rule-という演題で発表致しました。初めての国際学会発表ということもあり緊張しましたが、無事に終えることができました。質疑応答では、各国の研究者の方から今後の研究への具体的な示唆を頂きました。また、他の研究者の発表や懇親会においても、意見交換、議論を行い、有意義な時間を過ごすことができました。今回の滞在において、単に学会発表をして終わりではなく、今後も継続して議論を行えるような海外のスポーツ心理学研究者と知り合うことができました。このことは、国内学会においては難しく、今回の様な機会を頂いたおかげであると感じております。

今回、国際学会発表に際して、このような貴重なご支援を賜り、誠に感謝しております。

写真 1 : 学会会場のケルン体育大学



写真 2 : 発表会場の様子

